

中国社会文化学会 ワークショップ

中国外交史研究の最前線

2015年3月27日(金) 13:30~17:30

東京大学駒場キャンパス18号館
4階会議室（コラボレーションルーム1）

● 第1部

13時30分～15時00分

『出使日記の時代：

清末の中国と外交』

評者：小野 泰教（東京大学）

福岡万里子（国立歴史民俗博物館）



● 第2部

15時15分～16時30分

『近代中国の在外領事とアジア』

評者：箱田恵子（宮城教育大学）

森万佑子（東京大学大学院）

総合討論 16時30分～17時30分

開催趣旨

近年若手研究者の台頭により活況を呈する中国外交史研究の最新成果に対する論評と応答を通じて、研究の現状と今後の課題を提示する。新著の著者に加えて、評者には中国史からだけでなく、日本史・朝鮮史の専門家を招いて横断的な議論を展開していただき、近代東アジアと西洋をつなぐ外交史研究の可能性についても考えてみたい。

第1部

岡本隆司・箱田恵子・青山治世著『出使日記の時代：清末の中国と外交』（名古屋大学出版会，2014年8月刊）。

第2部

青山治世著『近代中国の在外領事とアジア』（名古屋大学出版会，2014年9月刊）。

司 会 村田雄二郎（東京大学）
主 催 中国社会文化学会
shabun@hyper.ocn.ne.jp